

# わが町のワクチン接種

## 子宮頸がんワクチンの年齢が変更

平成23年度の、子宮頸がんワクチンの年齢が変更になります。

### ●【変更前】

小学6年生（12歳相当）から高校1年生（16歳相当）の女子

### ●【変更後】

中学校1年生（13歳相当）から高校1年生（16歳相当）の女子  
すでに1回以上接種している



◎問い合わせ先  
役場保健衛生課  
環境衛生係  
☎（86）1111  
内線1107

## 小児用肺炎球菌ワクチンと ヒブワクチンの接種を再開

4月1日から、小児用肺炎球菌ワクチンと、ヒブワクチンの接種を再開しました。

小児用肺炎球菌ワクチン（プレベナー）と、ヒブワクチン（アクトヒブ）の接種については、接種後の死亡事例が複数報告されたことから、念のため、平成23年3月4日から一時的に見合わせていました。

その後、専門家の会議で評価を行った結果、安全性上の懸念はないとされたため、平成23年4月1日から接種を再開しました。

■これらのワクチンの接種は安全ですか？  
専門家の評価によると、現在得られている知見の範囲では、これらのワクチンの安全性について、心配はないとさ

れています。

■接種の予定から遅れてしまったのですが、どうすればいいですか？  
接種の間隔が、予定より多少開いたとしても、ワクチン接種を受けた後の免疫への効果には問題がないとされています。病気から身体を守る免疫をつけるためには、間隔が多少ずれたとしても、なるべく早く接種を受けましょう。

■同時に複数のワクチンを接種できますか？接種しても大丈夫ですか？  
小児用肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチンや、DPT（3種混合）ワクチンなどのワクチンは、それぞれ別々の日に接種できますが、医師の判断と保護者の同意によって、同時に複数のワクチンを接種す

ることができません。同時接種は、早く免疫をつけたり、受診の回数を少なくするために行われます。

■基礎疾患（持病）がある子どもは接種しないほうが良いのでしょうか？  
基礎疾患のあるかたは、疾患によっては、感染症にかかるとリスクが高くなるため、髄膜炎や敗血症などの重い感染症を早くから防ぐことが大切です。ワクチンによる副反応についてもより注意が必要です。主治医とよくご相談ください。

◎問い合わせ先

役場保健衛生課  
環境衛生係

☎（86）1111  
内線1107

